

製品名: GPR85 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11704**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	GPR85
別名	GPR85; SREB2; Probable G-protein coupled receptor 85; Super conserved receptor expressed in brain 2
遺伝子 ID	54329.0
SwissProt ID	P60893
免疫原	抗血清はヒト GPR85 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

背景

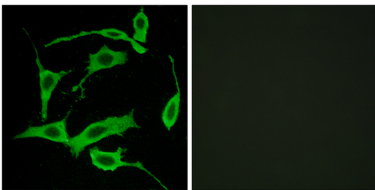
G タンパク質共役受容体 (GPCR) ファミリーのメンバー (GPR85 など) は、7つの膜貫通ドメインを特徴とする類似の構造を有す

る。神経伝達物質、ホルモン、光などの細胞外刺激によって GPCR が活性化されると、ヘテロ三量体 GTP 結合タンパク質 (G タンパク質) を介した細胞内シグナル伝達カスケードが誘導される (Matsumoto et al., 2000 [PubMed 10833454]) 。 [OMIM 提供、2008 年 8 月],機能: オープン受容体。 ,類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。 ,組織特異性: 脳と精巣で高発現。小腸、胎盤、脾臓では低発現。脳領域では、検査したすべての領域で検出されたが、脳梁、延髄、脊髄ではやや低発現であった。 ,

研究分野

-

画像データ



GPR85 抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。